対策案（たたき台）

資料６

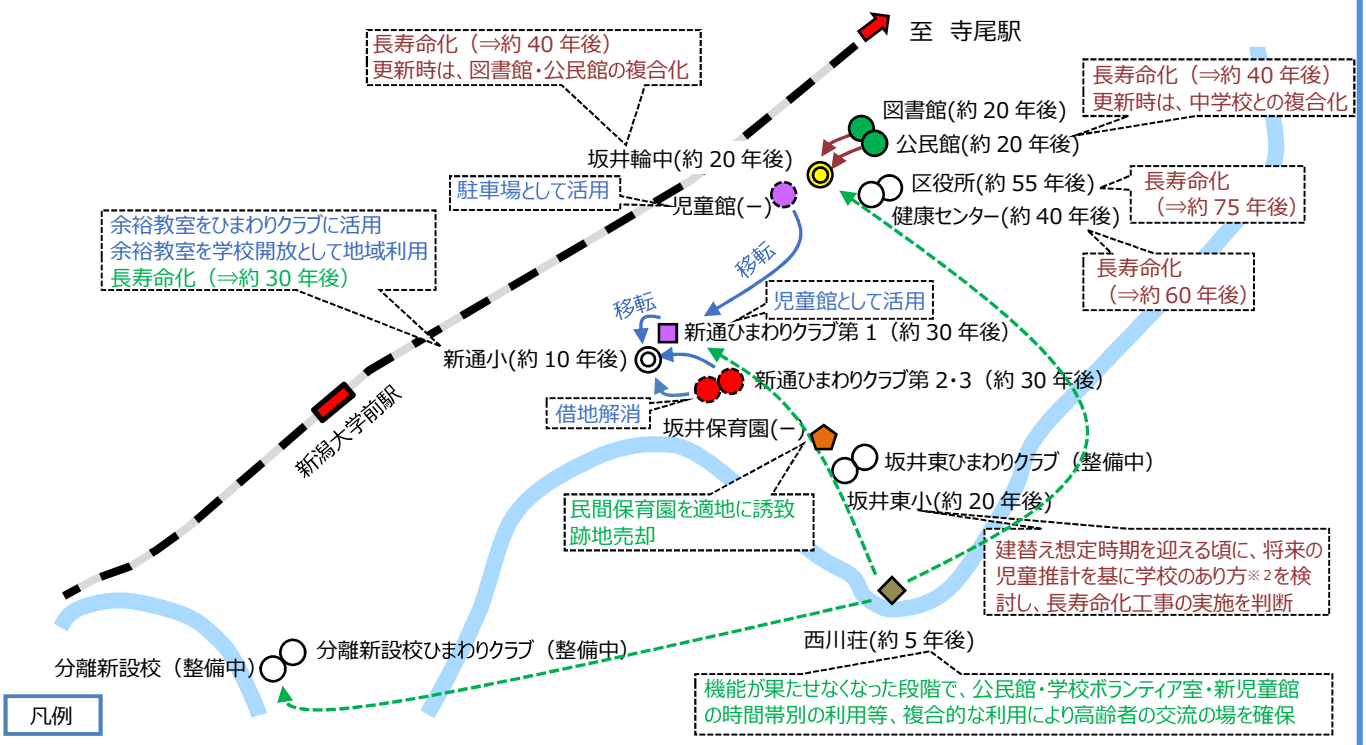
■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

WS案 A　子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備

【短期的取組】
- 新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- 新通ひまわりクラブ第１は、児童館に転用
- 余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用

【中期的取組】
- 民間保育園を適地に誘致し、駐車場・園庭スペースを確保（市立保育園は廃止）
- 西川荘は機能が果たせなくなった段階で廃止するが、高齢者の交流の場を既存施設に機能分散し確保

【長期的取組】
- 中学校の建替え時に、図書館・公民館と複合化



※1　建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を 60 年、木造及び軽量鉄骨造を 40 年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。
※2　学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特　徴

【長　所】
- ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化
- ひまわりクラブ第1を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される
- 保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- 保育園の民営化により、大きなコスト削減と休日の保育サービスの可能性

【課　題】
- 児童館の移転に伴い、屋外スペースの確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣での駐車場確保の検討が必要

対策案（たたき台）

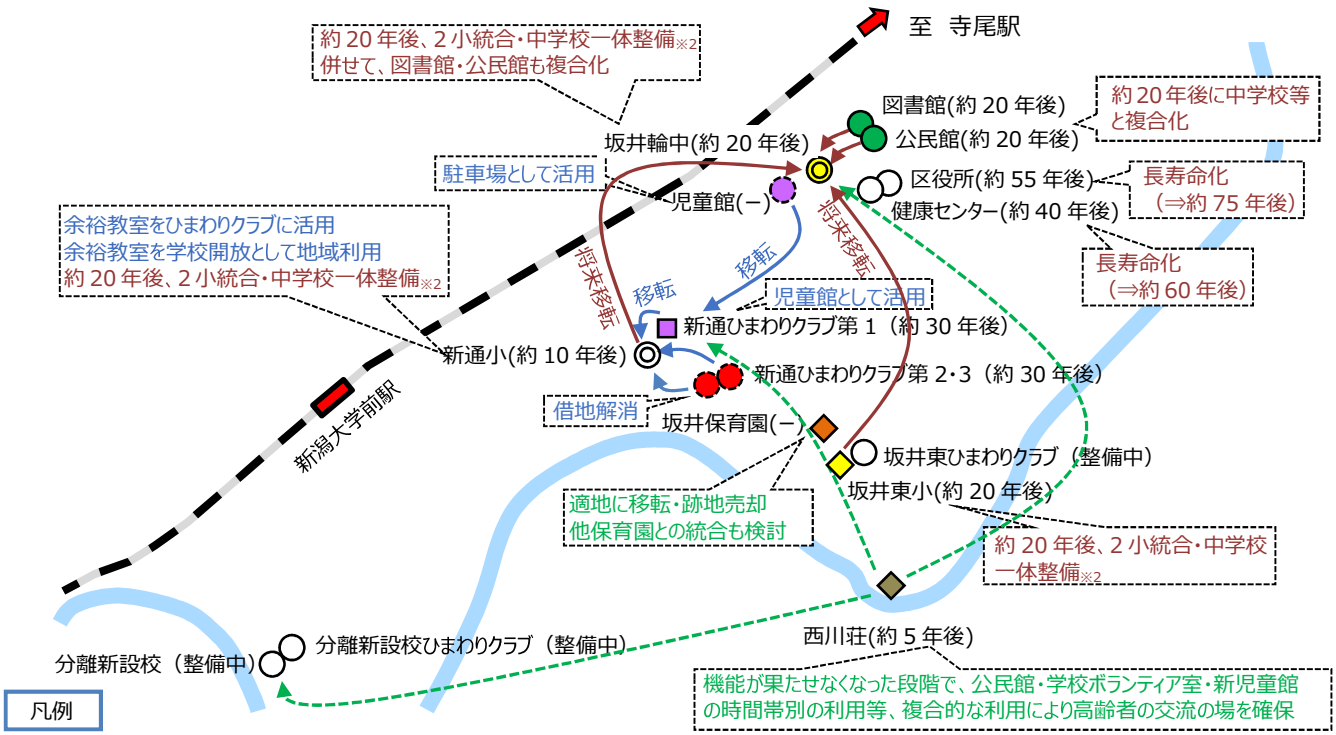
■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

WS案 B　子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、将来人口に合わせた機能統合

【短期的取組】
- 新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- 新通ひまわりクラブ第１は、児童館に転用
- 余裕教室を学校開放の位置付けで、自治会活動の場として活用

【中期的取組】
- 市立保育園を適地に移転し、駐車場・園庭スペースを確保
- 西川荘は機能が果たせなくなった段階で廃止するが、高齢者の交流の場を既存施設に機能分散し確保

【長期的取組】
- 将来の児童・生徒数の減少予測を踏まえ、２小学校を統合し、中学校・図書館・公民館と併せて整備



※1　建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。
※2　学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特　徴

【長　所】
- ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化
- ひまわりクラブ第１を児童館として有効活用することで、耐震性が確保される
- 保育園を適地に移転することで、駐車場・園庭スペース確保が期待される
- 将来人口を見越した学校の再編を行うことで、大きなコスト削減が見込まれる

【課　題】
- 児童館の移転に伴い、屋外スペースの確保が課題となるとともに、駐車場が縮小となることから、近隣での駐車場確保の検討が必要
- 保育園移転にあたり、敷地購入や建設工事で多額の費用がかかる
- 中学校の敷地に、統合小学校と中学校を整備する場合、グラウンドが小さくなることが懸念される
- 小中学校を一体で整備することで、小中一貫的な教育サービスの提供が可能となるが、分離新設校との教育サービスの差が懸念される

対策案（たたき台）

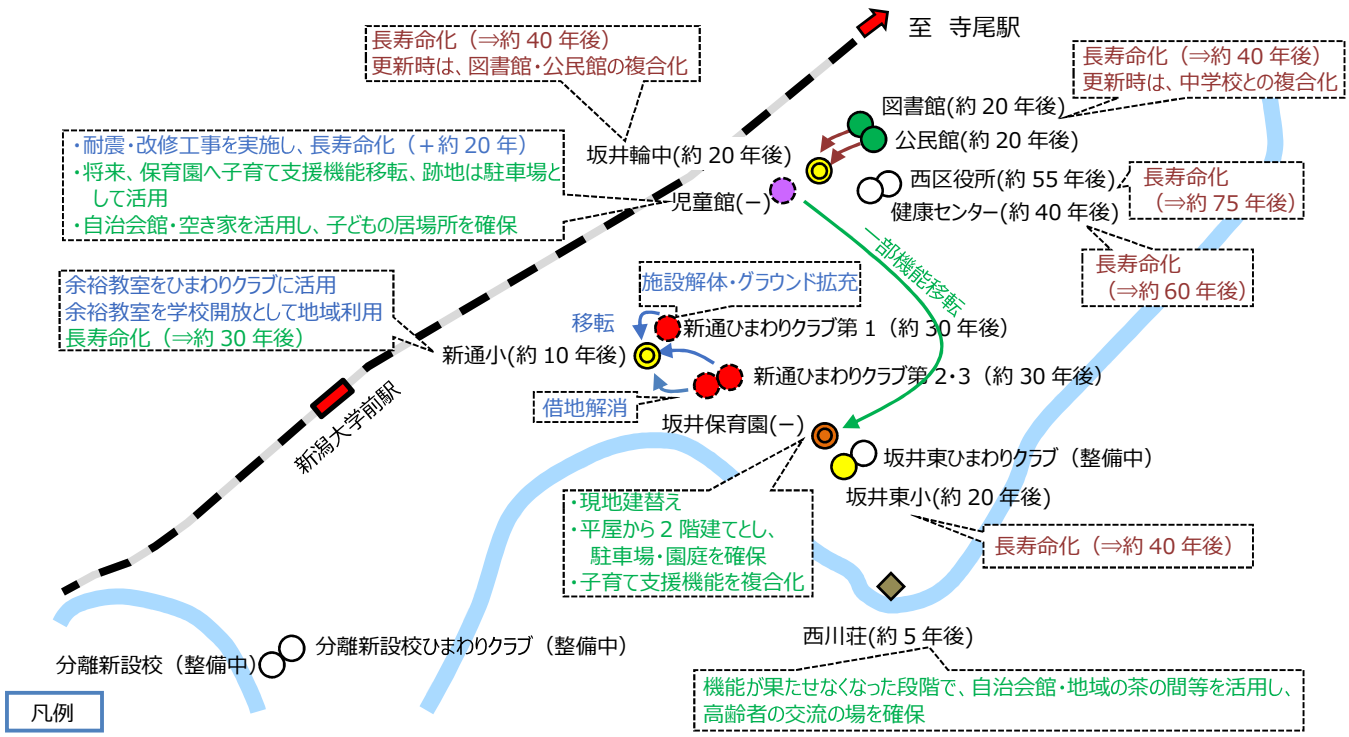
■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

WS案 C　民間施設の活用、交流拠点の分散化

【短期的取組】
- 新設小学校開設に伴う新通小の余裕教室を活用し、新通ひまわりクラブを校舎内に移転・借地を解消
- 新通ひまわりクラブ第１を解体し、グラウンドを拡充
- 児童館は、耐震・改修工事を実施し、長寿命化

【中期的取組】
- 児童館の子育て支援機能を保育園へ移転し、跡地は駐車場として活用
  併せて、自治会館・空き家を活用し、子どもの居場所を確保
- 市立保育園を２階建に建替え、駐車場・園庭スペースを確保し、併せて、子育て支援機能を併設
- 西川荘は、機能が果たせなくなった段階で廃止し、自治会館・地域の茶の間等を活用する

【長期的取組】
- 中学校の建替え時に、図書館・公民館と複合化



※１　建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を 60 年、木造及び軽量鉄骨造を 40 年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。
※２　学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特　徴

【長　所】
- ひまわりクラブが校舎内に確保され、安全面が強化
- 自治会館なども集会施設として位置付けることにより、活動拠点が分散化され、交流拠点が複数配置される

【課　題】
- 保育園を現地建替えするには、建設工事に加えて仮設の園舎が必要となり、高コストとなる
- 保育園に児童館機能を複合化して整備することで、子育て支援機能の強化が図られるが、敷地規模の関係から、数台程度の駐車スペースにとどまる可能性がある

対策案（たたき台）

■ 課題解決のためのコンセプトと対策案

WS案物差 現状維持（各案の比較用として、特に対策をせず、現状のままとする案）

【短期的取組】
- 西川荘は、機能が果たせなくなった段階で廃止し、自治会館・地域の茶の間等を活用する
- 児童館、市立保育園を建替え

【中期的取組】
- 新通小を建替え

【長期的取組】
- 坂井東小、坂井輪中、図書館、公民館を建替え
- 新通ひまわりクラブ第 1～3 を建替え

※1　建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を 60 年、木造及び軽量鉄骨造を 40 年と仮定。時期を超過しても建物が使用できなくなるわけではありません。

※2　学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、改めて地域とともに検討を進めます。

特　徴

【長　所】
- 方針が決定している西川荘以外の施設は、現状の配置･機能が当面の間は継続される

【課　題】
- 課題解決の狙いの達成に寄与できない
- コストを削減できない